

もくじ



今月の表紙  
『日本編物㈱』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 柿坪 正宏

◆所在地

加古川市東神吉町升田1197

◆電話

079-432-5060

◆ホームページ

<http://www.nichiamei.co.jp>

(オンラインショップ「はだあい」)

<https://hada-ai.com/>

◆表紙写真

- ①『ニチアミ』の商品を使うと手放せなくなりますよ  
②絶妙な調整具合で品質が決まります  
③来年の商品のカラーをニーズにあわせて決めていきます  
④厳しい目で行われる検品  
⑤特許取得による「ありそうでなかった」商品  
(1)薄手なので手作業はしやすく、保温性は抜群  
(2)裏起毛なのにスッキリ見えるレッグウォーマー  
(3)カラーハイソックス。足首「チラ見え」にビビットカラーを。



2 特集

第4代会頭 大庫典雄氏ご逝去  
在りし日を偲ぶ

7 クローズアップ

「自宅から24時間スマホで申告できます」

加古川税務署

署長 池田 伸治 さん

9 エッセイ

「私の理想とする どこにもない学習塾をめざして これからも」

少人数制学習塾 ENDEAVOR

代表 菅原 弘嗣 さん

10 会議所のうごき

JR加古川駅・東加古川駅周辺 通行量調査 他

14 団体だより

青年部・異業種交流会

15 会議所からのお知らせ

印刷物入札 他

15 インフォメーション

関係機関からのお知らせ

16 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



繰り返し手に取ってもらえる商品を提供したい

『同じ素材で違う丈の靴下』『吸汗性に優れた靴下』『薄手でありながら保温性に優れ「空気を、重ね着」したかのような靴下』……。創業1920年、100年を越える同社を率いる6代目社長の柿坪正宏さんは「ありそうでなかったもの、無意識に選ばれ繰り返し履きたくなる靴下を作りたいんです」と笑顔を見せます。

秋冬に売り上げが集中してしまう業界ですが、同社では夏用に吸汗性に優れた涼素材の靴下や、冷房からくる冷えを防ぐレッグウォーマーなど、特許技術を活用し年間を通して購入してもらえよう商品開発を行っています。そのため同社のオンラインショップ『はだあい』での「お客様の声」や、従業員の意見を積極的に取り入れるようにし、クレームは「改善の種類」ととらえ「やれることは全部やる」と、その要望に応えるため試作を重ね商品化してきました。その結果、独自性が光る商品は注目され、オンラインショップ利用者も大幅に増えました。同社のコンセプトである『「いいな」を集めて「いいよ」を作る』の思いは確実に消費者の元へと届いていたのです。

柿坪社長は「時代の変化とともにお客様が求めるものも変化します。今が良くてもそれが正解とは限りません。思い込みを捨て常にアンテナを高くし、我々に求められているものは何かを知ることが大切で『変化への対応』は永遠の課題なんです。我が社はメーカーでありながら問屋との商売が少なく、小売店に直接納入したり、オンラインショップにすることで、消費者に近い商売ができています。今後もネット販売には力を入れていくつもりです」と話します。

また、「コロナ・原材料高も経営に大きく影響しています。昨年までは糸の原料が上がったので値上げの話は避けて通れませんでした。為替の動きは気になるところですが、綿花の値上りについて今年も落ち着くのではないかと期待しています。コロナで中国生産が難しくなるなか改めてメイド・イン・ジャパンが見直されるようになりました。多くあった業者も減少するなど地場産業とはいえ靴下業界は今、非常に厳しい状況にあります。だからこそ「加古川産靴下」の良さを伝えられるチャンスだと思っています。高品質の維持には先人の知恵と技術、時代の変化には今を生きる私たち、2つを融合させれば必ず消費者が望む靴下を作ることができると思っています。私たちの挑戦に終わりは無いんです。柿坪社長の力強い言葉に地場産業の明るい未来を確信しました。